

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

2020年10月1日 発行

■ 本号の内容

- 廃止措置計画認可申請書の概要について
- 発電所の業務をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- みなさまのご質問におこたえします
- 「笑ふるタウンならは」2周年感謝祭!!
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



新型コロナの終息を願った田んぼアート「アマビエの祈り」（楡葉町）撮影日：2020年8月25日

廃止措置計画認可申請書の概要について

当社は、原子炉等規制法に基づき、福島第二原子力発電所の廃止措置計画認可申請書を5月29日に原子力規制委員会へ提出しております。

前回号では、廃止措置の全体工程4段階のうち第1段階に実施する具体的事項②③をご紹介しましたが、今回は④および⑤の概要について、ご説明いたします。

第1段階「解体工事準備期間(10年間)」に実施する具体的事項

- ①汚染状況の調査 ②汚染の除去 ③放射線管理区域外(屋外)の設備の解体撤去
④使用済燃料プールからの核燃料物質の搬出(取出し) ⑤放射性廃棄物の処理処分

④使用済燃料プールからの核燃料物質の搬出(取出し)

- 現在、当所の燃料は、原子炉からすべて取り出し、使用済燃料プールにて冷却保管しております。燃料のうち、使用済燃料については、廃止措置の終了までに再処理事業者へすべて譲り渡し、新燃料についても、原子炉本体等解体撤去期間(第3段階)の開始までに加工事業者等へ譲り渡します。
- なお、使用済燃料の譲り渡しまでの期間における貯蔵方法については、乾式貯蔵施設の導入も含め検討しておりますが、原子炉本体等解体撤去期間(第3段階)の開始までに使用済燃料プールからすべての燃料を取り出す予定です。

当所で冷却保管中の燃料の数(内訳)	2,534体 1号機	2,482体 2号機	2,544体 3号機	2,516体 4号機	
使用済燃料の数	2,334体	2,402体	2,360体	2,436体	合計 9,532体
新燃料の数	200体	80体	184体	80体	合計 544体

⑤放射性廃棄物の処理処分

- 廃止措置に伴い、解体物が発生いたします。

発生する解体物のうち低レベル放射性廃棄物の割合は全体の約2%と推定しております。

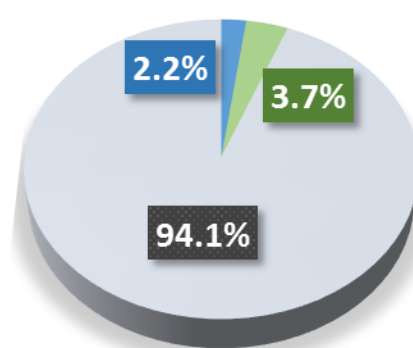
低レベル放射性廃棄物については、関係法令等に基づき適切に処理を行い、廃止措置が終了するまでに、原子炉等規制法の許可を受けた廃棄事業者の廃棄施設に廃棄いたします。

それまでの間は、発電所構内にある現状の保管設備で適切に保管いたします。

残り9割以上の解体物は、一般産業廃棄物として扱うことが可能です。可能な限り有効利用に努めてまいります。

- なお、放射性気体廃棄物および放射性液体廃棄物についても、これまでと同様に、関係法令等に基づき適切に処理を行い、管理放出いたします。

廃止措置に伴い発生する解体物の割合と推定発生量(1~4号機)



■ 低レベル放射性廃棄物 51,690トン

■ 放射性廃棄物として扱う必要のないもの 87,300トン

■ 放射性廃棄物ではないもの 2,210,000トン

※ 発生量については、第1段階に実施する汚染状況調査結果を踏まえて見直してまいります。

発電所の業務をご紹介します

今回は
健康管理室 です

当所構内にある健康管理室では看護師が勤務しており、全職員の定期健康診断の実施、体調不良者やケガ人への速やかな診療補助など、日々、職員を心身共に支えています。

また、安全な発電所運営を継続するため、今般の新型コロナウイルス感染症に対して、日々の検温、日常生活における3密回避の徹底・外出時の行動履歴を記録するなど、協力企業の皆さまと一体となって感染予防に努めております。

<当所におけるコロナ対策>



食堂座席の間引き



共用スペース使用後の消毒

9月30日時点において、当所所員および協力企業作業員に新型コロナウイルスの感染者は発生しておりません。引き続き、感染予防・拡大防止対策を徹底してまいります。



看護師として職員の心身の健康を全力でサポートしたい

私は、定期健康診断における保健指導のケアおよび体調不良者やケガ人の診療補助を担当しています。まずは私たち看護師が状態を確認し、常駐している産業医に診察してもらいます。また、健康増進のアドバイスや注意事項を伝える際には、本人の健康状態を把握する必要があるため、日々、職員とのコミュニケーションを大切にしながら健康状態の把握に努めています。

新型コロナウイルス感染症に対しては、面談や診療時に3密とならないよう、ソーシャルディスタンスを確保したり、オンラインによる対応も取り入れています。

私も地域住民の一人ですが、安全な発電所運営を継続し地域の安心・安全を維持するためには、職員の健康は欠かせないものだと思います。引き続き、全力で仕事に取り組んでまいります。



総務部 労務人事グループ
看護師 岩淵 小春 (大熊町出身)

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

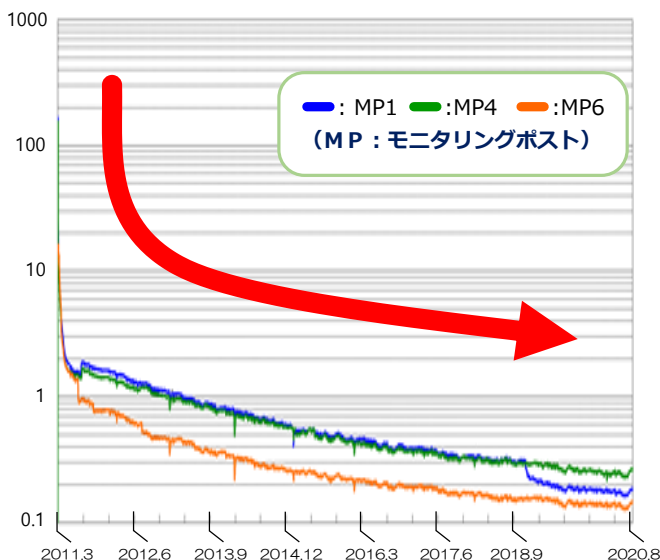
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2020年9月27日 時点

0.08 [MP7] ~ 0.25 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2020年8月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (帰還困難区域含む)	0.07 ~ 1.72	楢葉町	0.04 ~ 0.21
広野町	0.05 ~ 0.16	川内村	0.05 ~ 0.25

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2020年9月27日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典: 福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

みなさまのご質問におこたえします

Q. 大きな地震や津波が来たら、発電所に保管している使用済燃料は、安全なのでしょう

A. 当所は、すべての使用済燃料（約1万本）を使用済燃料プールで保管し、安定冷却を行っています。



使用済燃料プールについては、震災後に策定された国の新しい規制基準や、最新の地震・津波のモデルに照らしても、健全性が維持されると評価して

います。〈参考〉・東北地方太平洋沖地震における当所の地震動（水平最大305ガル）・津波（海側エリア 海拔7m）
・新規規制基準を踏まえた当所の地震動（水平最大900ガル）・津波（海拔27.5m）
【発生確率：1万年～100万年に1回】

また、使用済燃料プールへ注水する設備が被害を受けるような事態（冷却機能の喪失）への備えとして、消防車などによる注水で冷却を続け、使用済燃料の健全性が確保できるよう手順を定め、定期的に訓練を実施しています。

「笑ふるタウンならは」2周年感謝祭!!

8月29日、楡葉町の復興拠点「笑ふるタウンならは」の2周年感謝祭が行われました。拠点内の商業施設「ここなら笑店街」の来場者は、これまでに120万人を超えており、当日も多くの来場者が出店やステージイベントなどを楽しみました。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、皆さまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

編集後記

今年もサケの遡上シーズンが来ました。昨年は、台風で木戸川のやな場が壊れてしまい、楽しみにしていた直売所での販売もありませんでした。今年こそは、木戸川にたくさんのサケが遡上することを願うばかりです。直売所が再開されたら、是非、新鮮なイクラを購入したいと思います。【吉】



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,167人*です。(2020年8月1日現在)
*1日あたりの入構者数は約1,000人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	388人	1,480人	1,868人 (86%)
県外	50人	249人	299人 (14%)
合計	438人	1,729人	2,167人 (100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)